

創立30周年実行委員会

実行委員長 中窪 啓司

平城京ロータリークラブ創立30周年記念式典を挙りましたところ、師走と選挙でお忙しい中、奈良県副知事奥田喜則様、奈良市長仲川げん様、また国際ロータリー第2650地区ガバナー北河原公敬様はじめ多くの来賓の皆様に、御臨席賜り誠に有難うございます。

平城京ロータリークラブは1984年12月9日、奈良西ロータリークラブ、奈良大宮ロータリークラブ、京都城陽ロータリークラブをスポンサークラブとして創設されました。

以来30年平城ニュータウンをテリトリーとして地域に根差した奉仕事業、また会員相互の親睦を踏ってまいりました。この度の30周年を迎えるにあたってはテーマを“地域を照らし、次世代につなぐ！”とさせて頂きました。それは30年間、継続してまいりました地域に根差した奉仕事業を発展させていくという決意であり、今年度、C、KホァンR I会長は「ロータリーに輝きを」をテーマとされていますが、それによってまわりを明るく照らすことになると思います。また地域を照らし続けるためには新しい世代に引き継ぐことが必要であり、いわゆる増強への決意としてのテーマであります。

次いで記念事業の御報告を致します。

① まず「サロン風アトリエ飛鳥創りプロジェクト」です。

2011年3月11日に発生した東日本大震災は衝撃的で甚大な被害をもたらしました。以来平城京ロータリークラブにとっても復興ということが重い十字架を背負ったような課題となり、種々の復興事業を続けてまいりました。

本事業はその一つとして被災した陸前高田において仮設住宅で暮らす人達の憩いの場として、また震災で家を流された知的障害がありますが素晴らしい絵をかく田崎飛鳥君の創作の場としてサロン風アトリエを寄贈するものであります。

これは中古のプレハブを利用して創ったものであります。7月19、20日奥西会長以下10名の会員が陸前高田を訪問し事業資金を贈呈し、先日ようやく、サロン風アトリエが完成しました。

当日は地元選出の国会議員や市会議員等約60名が出席し贈呈式が盛大に行なわれ、地元の東海新聞にも掲載されました。

本事業は332万円の事業で東日本復興基金日本委員会から230万円の補助金を受け、残りを会員の寄付と現地の飛鳥と歩む会の協力によって実現したものであります。そ

こへは東日本復興に力を注いでおられます北河原ガバナーから励ましの色紙も送って頂きました。

- ② 2件目の記念事業は「障害のある高齢者のための奉仕プロジェクト」これこそ平城京ロータリークラブが創立以来、クラブの方針として来た地域に根ざした奉仕事業であります。

2014年10月4日、奈良市総合福祉センターにおいて、同センターの要望に応じてそこへリハビリのために通う障害者の人達のために屋外でもリハビリが出来るように大型テント2基と車椅子10台そして健康備品35個贈呈の寄贈式を行ないました。

その後音楽療法士の皆さんの協力を得て、障害のある高齢者の方達と童謡やナツメロと一緒に歌う癒しのイベントを行ない、楽しく交流を深めました。

平城京ロータリークラブの会員24名、障害者の方、福祉センターの方約30名で実施されました。また、これによる受益者は年間延べ9400名になるものと考えられます。この事業は毎日新聞並びに奈良新聞に掲載されました。

本事業は総額126万円の事業で地区補助金申請金額の満額の76万円の補助金の交付を受けて実施したものです。

- ③ 3件目の記念事業は只今実施されました「鹿の愛護会への寄付」です。これは奈良の象徴の一つである奈良の鹿の保護を目的とする一般財団法人奈良の鹿愛護会の趣旨に賛同し、同法人に対し、金30万円を寄付するものです。

これら3件平城京ロータリークラブ創立30周年の記念事業として実施致しました。以上平城京ロータリークラブ創立30周年事業の御報告とさせていただきます。